

水産基盤整備事業

144,148(153,104)百万円

対策のポイント

漁港と漁場の一体的・総合的な計画制度の下、資源回復に資する漁場等の保全・創造を推進し、良質な水産物の安定供給に万全を期すとともに、安全で安心な暮らしの実現及び活力ある漁村の振興を図る。

(背景)

- ・世界の水産物消費量の増加により水産物需給逼迫の懸念。
- ・藻場・干潟の減少などの漁場環境の悪化による国内水産資源の減少。
- ・国際化の進展への対応と産地市場の統合などの流通構造改革の必要性。
- ・災害に対して脆弱な漁業地域の防災対策が急務。
- ・汚水処理施設など漁村における生活基盤整備の立ち後れ。

政策目標

- (1) 我が国周辺水域における水産資源の生産力の向上
- (2) 国際競争力強化と力強い産地づくりの推進
- (3) 水産物の安定的な提供を支える安全で安心な漁村の形成

<内容>

沿岸域における漁場と漁港の一体的整備

沖合域において広域にわたる資源増大効果を有する漁場の整備

非公共事業とも連携しつつ産地市場統合、品質・衛生管理の強化等の要請に対応した生産・流通加工の拠点整備

漁場環境等の積極的な保全・創造のため、藻場・干潟の造成、ヘドロの除去等、集落排水施設の積極的な整備

漁村の総合的な振興を図るため、衛生や防災の生活環境の向上、就労環境の改善のための施設整備

【担当課：水産庁計画課03-3506-7897(直)】